

鉄道歴史パーク in SAIJO 開館10周年記念シンポジウム

鉄道歴史パーク in SAIJOが、開館10周年の節目を迎えるにあたり、その記念事業として、「新幹線の生みの親」である十河信二先生の功績を顕彰するとともに、四国における新幹線導入に向けた機運を醸成するために、シンポジウムを行います。



新幹線の生みの親 第4代国鉄総裁 十河 信二

明治17年、現在の新居浜市中萩町生まれ。旧西条中学校卒。第2代西条市長を務めた後、国鉄総裁となった十河氏は、熱い情熱と卓越した手腕で「夢の超特急」東海道新幹線計画を実現した。「有法子(成せば成る)」の精神を持ち、明治から昭和にかけ、激動の時代を生き抜いた郷土の偉人。世界に誇る日本の新幹線は、十河氏を始めとする先人達により、国民の利益と繁栄を願って作られた。

■ 基調講演

第1部 「十河信二なくしてSHINKANSENなし」



ノンフィクション作家 高橋 団吉

昭和30年生まれ。早稲田大学文学部ロシア文学科卒業。著書に『新幹線を走らせた男 十河信二物語』(デコ)、『新幹線をつくった男 島秀雄物語』(小学館、第二十六回交通図書賞)、『島秀雄の世界旅行1936-1937』(技術評論社、第三十五回交通図書賞)、『新幹線をつくった男 伝説のエンジニア・島秀雄物語』(PHP文庫)ほか。

■ 基調講演

第2部 「四国に新幹線を」



四国旅客鉄道株式会社 取締役会長 泉 雅文

昭和27年生まれ。昭和51年日本国有鉄道入社。分割民営化に伴い、昭和62年からJR四国。経営企画室長、取締役財務部長、代表取締役専務総務部長などを歴任し、平成22年から6年間、代表取締役社長を務めた。平成28年6月から現職。

■ 事例紹介

「鉄道を活かしたまちづくり ~鉄道の街にいつを再び~」



新潟市新津鉄道資料館 副館長 水澤 喜代志

昭和37年生まれ。新津鉄道資料館のリニューアルを通し新津商店街、地域、鉄道愛好家を巻き込んで鉄道を活かしたまちづくりを提唱し、昭和40年代まで地域の代名詞だった「鉄道の街にいつ」を復活させ、新潟市の新たな魅力づくりへと繋げ全国展開を図っている。

■ 劇

ミュージカル ショートバージョン 「走れ! 夢の新幹線 ~キクとシンジの物語~」

脚本・出演 坊っちゃん劇場 ほか

坊っちゃん劇場は東温市にあるミュージカルの常設劇場で、西条市では平成27年度に新幹線の生みの親と言われた「十河信二」を題材に市民参加型のミュージカルを制作。平成30年にも再演を予定している。



西条市総合文化会館
小ホール